

平成27年5月

新家族主義経営

古田土会計では全社員が年2回「日本を美しくする会」のトイレ掃除に参加します。このうち1回はうちの社員がサブリーダーに在り、小中学生や初めて参加した人達を指導します。女性社員は吉田専務の指示のもと500~600人分のカレーライス朝7時頃から作り始めます。トイレ掃除とは初めて参加する小学生、PTAの方や学校の先生、会社の社員の方も多いのですが、トイレ掃除が終わると初めて参加した人は、夢中になった、感動した、いろいろな気づきを得た、次も参加したい等と言ってくれます。初めて参加した人が完璧にピカピカに便器を掃除します。トイレ掃除を仕事としている業者おのづからきれいに磨き上げます。何故このような掃除ができるのでしょうか。それは、リーダーが優秀だからです。道具が工夫されたものを使っているからです。去年の12月のトイレ掃除では、若い女性社員にトイレ掃除の体験をしてもらいためにカレーライスの調理は30代~50代の中年のおじさん方に任せました。ふたんは包丁も握ったことのない人でもいると思います。しかし出来上がったカレーライスは多分と同じくとてもおいしくうちの子は3杯も食べたと言っているお母さんもいました。何故中年のおじさんでもおいしいカレーライスが作れるのでしょうか。リーダーである吉田専務が優秀だからです。私は女子社員に調理をしたこともない中年のおじさんでもおいしいカレーライスが作れる理由を聞きましたが、よい答えがなかったのが、カレーライスも会社経営もリーダーが優秀だから、社員が優秀でなくてもリーダーが優秀なら、よい経営はできると教えてあげました。聞いている人は無理矢理納得です。中小企業において優秀なリーダーだと思える会社は、明確な経営理念や経営方針を持ち、経営計画書を作り、月次決算により毎月全社員で数字をチェックしている会社ですが、以下は損益分岐点、比率90%以下の会社、理想は80%、B/Aでは自己資本比率50%以上の会社、低くても30%の会社であると思っています。税金を払わなると自己資本比率はよくなりません。総資産を少なくしないと自己資本比率はよくなりません。必要の預金を確保しながら、借入金を減らさないとよくなりません。よく税金を払うくらいなら、利息を払って節税をしたほうがましと言っている人がいますが、もたらないお金の使い方です。年利3000万円の利息を1,200万円にして、1,800万円のうち900万円を社員の賞与にすれば、30人の会社なら、1人30万円賞与が増えます。経営者の中には、いくら賞与を出しても喜びのは1回だけであとはあがりませんと言っている人もいます。しかし私達中小企業の賞与は世間相場以上に払われているのでしょうか。たとえ社員が1回しか感謝してくれなくても社員と家族の生活が豊かになっています。

4月18日に(株)ジョイナス様の35周年記念パーティが舞浜のホテルで開催されました。社員さん、パートの家族を含めて総数140名位でした。当日は全員が宿泊し、翌日はディズニーランドへ行く予定です。外部の人は運送業者等少数です。得意先は町内ません。景品、イベントなども豪華でした。山田社長の言葉です。「うちの女子社員は安心して結婚できると言っています。」パートで働いてくれている女性社員が会社が社員を大事にしているのと安心して自分一人で子供を育てられると思ってくれています。当然です。会社の業績はよく、社員の給与も高く、B/Aの自己資本比率も高いです。働いている会社、社員のモチベーションが高い会社は、家族同伴の忘年会、社員旅行、レクリエーション、バーベキュー大会、運動会等をやり始めています。お客様を接待するより、社員を接待するに似て社員と家族に喜ばれ、感謝した社員が知恵を出し、お客様に喜ばれ、感謝される商品や企画、開発、サービスを提供することにより、粗利益が増え、会社が儲かり、その一部を社員に分配する。この好循環を作れる人こそがよいリーダーではないでしょうか。中小企業だからこそ、社長の思いの強さにより、パートさんまで含めて社員と家族を幸せにする経営ができます。株主を気にすることなく、社員を家族同様に大事にする新家族主義経営の時代に早くしたいものです。

古田土 満